

Le Corbusier

Photographs by Mikiya Takimoto



窓から望む景色。柔らかな光に包まれたカーテン。
石の床に反射する色ガラス。幾何学立体の壁面。
それら断片から確かに「ル・コルビュジェ」の面影を見た。
瀧本幹也

2017.10.14 sat – 11.4 sat

同時開催

瀧本幹也 写真展 「FLAME / SURFACE」 10月12日(木) – 11月27日(月)
Canon Gallery S 港区港南2-16-6 03-6719-9021 10:00 - 17:30 日・祝休

M A 2 Gallery

12:00 - 19:00 日・月・祝日休 東京都渋谷区恵比寿3-3-8

03-3444-1133 ma2@ma2gallery.com www.ma2gallery.com

MA2 Galleryでは3年ぶりになる瀧本幹也の個展を開催致します。気鋭の写真家として、広告写真や映像、映画の撮影監督としても注目を集め、その卓越した感性と視点、グラフィカルな構成力で独特な世界観をみせる瀧本幹也。自身の作家としての作品も常に撮り続けています。今回は瀧本が敬愛する建築家、ル・コルビュジエをテーマに撮りためた新作を約30点展示。サヴォア邸やロンシャンの礼拝堂など数回に渡って訪ねた瀧本は、その建築のなかに、かつてコルビュジエという人がその場にいたこと、その時間、彼がみたであろう風景、そんなことを追体験するように感じながら、シャッターを切ったと言います。またモノクロームのネガにコルビュジエの配色から習い印画紙へ投影する技法も用いました。瀧本の視点を通して、コルビュジエの時間と、現代の時間とが交差する作品です。MA2 Galleryでこれまでにみせた「GRAIN OF LIGHT」「LAND SPACE」での大地の営み、スペースシャトルなどの人工物。そして本展では1人の人間の遺したものにフォーカスした瀧本。大きな空間と時間の流れの中にあるそれぞれの断片や表情。瀧本はそれぞれに深く対峙しながらも俯瞰したように眺め繋げてゆこうとしているのかもしれません。

写真家 / 1974年愛知県生まれ。94年より藤井保氏に師事。98年に写真家として独立し、瀧本幹也写真事務所を設立。広告写真をはじめ、グラフィック、エディトリアルワーク、自身の作品制作活動、コマーシャルフィルム、映画など幅広い分野の撮影を手がける。主な作品集に『LAND SPACE』(13)『SIGHTSEEING』(07)『BAUHAUS DESSAU .: MIKIYA TAKIMOTO』(05)などがある。東京ADC賞、ニューヨークADC賞GOLD、カンヌライオンズ国際広告祭GOLD、ACCグランプリ、日経広告賞グランプリ、ニューヨークCLIO AWARDS GOLD、ロンドンD&AD YELLOW PENCILなど、国内外での受賞歴多数。

